

カリセン つうしん 通信 NO.122

京都市総合教育センター
カリキュラム開発支援センター

子どもに届く確かな授業をめざして！
明日の授業づくりをサポートします

令和5年7月



古都に祇園囃子が響く季節。1学期のまとめと夏休み前の準備を進めましょう。

◎ 令和4年度の学習指導案を配架・公開しました ◎

各学校・園からご提供いただきました令和4年度に作成・実施された授業の学習指導案ですが、この度そのファイルが整い、教材開発室Iに配架しました。併せて、教職員研修支援 SMART PORTAL のカリキュラム開発支援センターのデータベースにもアップロードしました。各学校・園の端末から、カリセンのホームページで検索してご覧いただくことができ、ダウンロード・印刷することもできます。

また、カリセンでは、幼稚園・小学校・中学校・総合支援学校の各校種別に、各教科・領域や総合的な学習、道徳科、特別活動、生徒指導の三機能、総合育成支援教育、人権教育、食育等、多岐にわたる学習指導案を過年度分も含めて、たくさんそろえています。

子どもたちの資質や能力の育成に向けて、GIGA 端末などの ICT 機器を最大限活用し、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を一体的に充実していくため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や資料作りの参考にさせていただき、確かな学力の定着を図っていただきたいと思います。

学習指導案の検索・ダウンロードのしかた

カリキュラム開発支援センターの TOP ページ



指導案・蔵書・DVD 検索 TOP



指導案検索（学校・園）は **ここをクリック**



データベースのページ内 **検索** をクリック



キーワード（学年や教科、単元名、教材名などの言葉）を入れて **検索** をクリック



検索されて出てきたデータベースから必要なデータを選び、PDF ファイルを開く



学習指導案をダウンロードし、閲覧または印刷する



ここに、学年や教科、単元名、教材名などの言葉を入力します。



検索 ボタンを押すとデータベースが出てきます。そして、必要なデータを選び、青い字の PDF ファイルをクリックすると学習指導案がダウンロードされ、閲覧・印刷ができます。

教育関係資料・教育雑誌の紹介

GIGA スクール構想が進められ、児童生徒が1人1台の端末を活用するようになりました。

今年度からは「KYOTO×教育 DX ビジョン」において、子どもたちが自らの学びに ICT ならではの強みを積極的に取り入れ、問題が生じた際にはその解決を図るとともに、著作権への理解等も含めデジタル技術を正しく効果的に活用しながら社会に参画しようとする姿勢やそのために必要な能力を身に付けるよう、デジタル社会の善き担い手を育成する「デジタル・シティズンシップ教育」の理念を踏まえた取組を進めていくことが求められています。

そこで、今回は、「デジタル・シティズンシップ教育」について書かれた、資料と図書を紹介します。

京都市版 デジタル・シティズンシップ教育の手引（試案） 令和5年2月



情報モラル教育からデジタル・シティズンシップ教育へ

デジタル社会の善き担い手となる子どもたちの育成に向けて、情報モラル教育の中から、デジタル・シティズンシップ教育の素地を養うことができる指導例が発達段階ごとに作成されています。カリキュラムの作成などに活用できます。
(学校教育の重点 P25 [関連1](#) 参照)

教職員研修支援 SMART PORTAL 内
メニュー ⇒ 京都市スタンダード をクリック！
その中にも掲載されており、読むことができます。



書名「デジタル・シティズンシップ教育の挑戦」

はじめに

- 1 情報モラルの歴史から考える
 - ・ P. 16・17 デジタル・シティズンシップ教育への転換のための「見方・考え方」
- 2 GIGA スクール構想とは何か
- 3 1人1台の時代の情報モラル教育
 - ・ デジタル・シティズンシップを育む授業
- 4 GIGA スクール構想とデジタル・シティズンシップ教育
 - ・ P. 56 (表1) 家庭での位置づけも変わる
- 5 デジタル・シティズンシップ教育の実践と課題
 - ・ P78 (表2) デジタル社会で良き市民となるため(デジタル市民性)の5つの中核的資質
 - ・ P. 86~89 (表6) ニュースとメディアリテラシーの教材概要
- 6 デジタル・シティズンシップ教育の挑戦



教育文化総合研究所編
初版 2021.5.31

デジタル社会で生活をしていく子どもたちに、どのようにして必要な力をつけるのか、参考になる図書です。



図書案内



共生社会における学びについて考えよう！



「サコ学長、日本を語る」
ウスビ・サコ:著
朝日新聞出版



「<やさしい日本語>
と多文化共生」
庵功雄 他:編 ココ出版



「貧困・障がい・国籍
教育のインクルーシブ化に学校はどう備えるか」
共生社会の学校づくり研究会:編 学事出版

必見！京都市
における取組
掲載。

学びの場で、性別・文化・障がいなど人それぞれの違いを自然に受け入れ、
支えあい、互いに認めあう共生社会を目指すために大切なことを問いかけます

7・8月の企画展 「生きる力」を育む15の取組より 6～10の取組

令和5年7月4日(火)～9月2日(土) 総合教育センター3階 エレベーターホール前

- 6. 道徳教育の充実
 - 7. 伝統文化・芸術や自然体験等を通じ、豊かな情操を育む教育の充実
 - 8. 規範意識の育成
 - 9. 多様性を理解する姿勢の涵養
 - 10. 支え合い高めあう集団づくりの推進と絆づくり
- の充実をめざして
- ※ 11～15の取組は9・10月に展示します。



祇園祭 宵山



鹿ヶ谷かぼちゃ供養
(安楽寺)

特設展 「京都を学ぶ」
～「伝統と文化を受け継ぎ、
次代と自らの未来を創造する子どもの育成」をめざして～
京都の伝統文化・文化資源関連の書籍を中心に

同時開催しています！

■カリセン開室時間(通常) ※令和5年4月より、開室時間に変更になりました。
月曜日～金曜日…午前9時～午後8時15分 (第1月曜日と毎週木曜日は午後5時15分まで)
土曜日…午前9時～午後5時 7・8月の土曜開室日: 7/8、15 8/26